



今年もあと残すところ1ヶ月となりました。日頃からピアノレッスンへのご理解とご協力、いつも本当にありがとうございます。

さてこのたび、レッスンで使用しているグランドピアノをオーバーホールに出すことに致しました。今の楽器は私が小学6年生から使用している楽器でして、さすがに長年の使用感が気になっていたところ、印西市にあるピアノ再生工房ピアピットさんを知りました。

ピアノの内部の小さな消耗部品をすべて新しくし、弦もドイツ製の最高級の弦に交換します。また金属のフレームも含め再塗装しますので新品同様のピアノになって戻って来るかと思えます。

ピアノ内部の金属フレームには何百本もの鋼鉄の弦をピンと張り詰めた状態で保つために、20トン近い圧力がかかっています。まず3日ほどかけて弦圧を緩めるところから作業は始まります。そして全ての弦を外したあと、数人がかりで200kg近い金属フレームをピアノ本体から取り外します。

小さなチューニングピン一本一本を手作業で磨き直し、楽器内部の響板に塗られたニスなども特殊な薬品で全て剥がし再塗装、内部も徹底的にクリーニングしてから、再度一からピアノを組み立てるといふ気が遠くなりそうな作業ですので、三ヶ月はかかるそうです。

その間はアップライトピアノをリースいたしましたので、大変申し訳ございませんがどうぞご理解よろしくお願い致します。

なお、オーバーホールを依頼している間、何度か工房を訪れ作業を見学に行く予定です。ピアノという楽器の複雑な構造を知り、またピアノを再生する職人さんの熱意ある仕事ぶりを間近に見ることが出来るいい機会ですので、見学ご希望の方がいらっしゃいましたらぜひお声かけ下さい

来年3月27日(日)には、八千代台駅近くの音楽スタジオ「八千代台シャンテ」にて「春のおさらい会」も企画中です。詳細は、また後ほどお知らせ致します。

それでは、ご迷惑をおかけすることになってしまいましたが、より良いレッスン環境の向上のため、改めてどうぞご理解よろしくお願い申し上げます。

中川 陽子